

報道関係者各位

2026年2月5日
ワークスアイディ株式会社

kintone のデータを AI が自動分析・生成する 「Works Connect to neoAI Chat」を提供開始

— kintone 連携、現場を迷わせないナレッジ活用プラグイン —

企業の DX 支援を行うワークスアイディ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：池邊 竜一、以下 ワークスアイディ）は、サイボウズ株式会社が提供する「kintone（キントーン）」と、東京大学松尾研究室発の技術を活用した株式会社 neoAI の生成 AI 「neoAI Chat」をシームレスに連携させるプラグイン『Works Connect to neoAI Chat』を、2026年2月5日（木）より提供開始いたします。本サービスは、kintone ユーザーが AI への複雑な指示（プロンプト）を意識することなく、既存の業務プロセスの中で自然に AI の恩恵を受けられる環境を提供します。

サービスサイト：<https://dx.worksid.co.jp/service/worksconnect-to-neoaichat/>

現場を迷わせないナレッジ活用プラグイン

「 Works Connect to neoAI Chat 」

に おまかせ！

**kintone**

- ・顧客情報
- ・案件管理
- ・日報 …など

**Works Connect to neoAI Chat**

**neoAI Chat**

- ・マニュアル
- ・提案資料
- ・契約書 …など

情報の壁を取り払い、kintone上で業務が完結！

■ 現場主導の AI 活用

昨今、多くの企業で生成 AI の導入が進んでいますが、実業務への定着には「プロンプト入力の手間」や「社内データとの連携」が大きな課題となっています。実際に、ビジネスパーソンが業務に必要な情報を「調べる・探す」時間は1日平均1.6時間に及ぶという調査結果※もあり、この非生産的な時間の削減は喫緊の課題です。

一方で、kintone は導入社数が約 40,000 社を超え、非 IT 部門（現場）が自ら業務を改善するプラッ

トフォームとして広く定着しています。ワークスアイディは、現場のデータが集まる kintone と高度な生成 AI をシームレスに接続することで、IT 専門知識がない担当者でも直感的に AI の力を引き出せる環境を提供するため、本プラグインの開発に至りました。

※出典：オウケイウェイヴ総研「社内業務に関する調査」（2019 年）

■ 現場が直面する「生成 AI 導入」3 つの課題を解決

本プラグインは、現場の活用を阻む以下の 3 つの壁を取り払い、kintone 上でのスムーズな業務完結を支援します。

（1）情報の分断

商談履歴は kintone、提案資料は個人フォルダ、マニュアルは PDF といった具合にデータが散在しており、これまでには判断材料を探すだけで多くの時間を費やしていました。本サービスは、これらの情報の壁を取り払い、kintone を AI 業務基盤へと進化させます。

（2）プロンプトの壁

「何をどう指示すればいいかわからない」というプロンプトへの苦手意識が、現場での AI 活用を阻害する大きな要因となっています。本プラグインでは、kintone レコード内の情報をそのまま AI への指示として自動活用できるため、ユーザーはプロンプト入力を意識することなく、ボタン一つで最適な回答を得ることができます。

（3）属人化の解消

これまで、kintone によって情報の共有は進んできましたが、具体的な判断基準やナレッジは依然として個人の経験に依存する「属人化」が課題でした。ベテラン社員だけが持つ過去の知見を AI によって引き出しやすくすることで、新人でも高い品質で業務を遂行できるプロセスを構築し、組織全体の生産性を底上げします。

■ 『Works Connect to neoAI Chat』の概要と特徴

本サービスは、kintone アプリ内のデータを「neoAI Chat」へ自動的に連携し、AI による分析・生成結果を再び kintone レコードへ直接記録できる拡張機能です。

「AI をどう使うか」をユーザーに委ねるのではなく、既存の業務フローの中に AI を溶け込ませることで、以下の 3 つの価値を提供します。

1. 【アシスタント機能】複数の役割を持つ AI を、ボタン一つで使い分け

「要約」「翻訳」「提案作成」「再発防止策提示」など、業務のユースケースに合わせたアシスタントと連携が可能です。1 アプリにつき最大 5 つまで AI アシスタントを設置でき、ユーザーは目的に応じたボタンを押すだけで最適なサポートを受けられます。

2. 【自動プロンプト&RAG 連携】コピー&ペースト不要で、社内の資料をフル活用

kintone レコード内の顧客情報や過去のトラブル報告書などを、自動的に AI への指示（プロンプト）として送信するため、手動での入力の手間を省けます。kintone 内のデータだけでなく、ファイルサーバー上の PDF マニュアル、規定文書、提案資料などを AI が参照して回答を生成します。

3. 【ナレッジの自動蓄積】AI の回答をフィールドに記録し、組織の共有資産へ

AI が生成した回答や分析結果は、kintone の指定フィールドに自動で書き込み、保存されます。

個人のチャットで完結させず、チーム全体で AI の活用成果を共有・蓄積（ナレッジ化）することで、新人でもベテランの知見をボタン一つで活用できるようになります。

■ 社会的意義と今後の展望

労働人口の減少が深刻な社会課題となる中、本サービスは「AI の民主化」を加速させます。kintone ユーザーの約 8 割を占める企画・営業等の非 IT 部門が、高度なエンジニアリングなしに AI の恩恵を受けられることで、日本企業の現場レベルでの生産性向上に寄与します。今後は、中小企業でも導入しやすいシェアードサービスとしての展開も見据え、企業のデータ活用と AX(AI トランスフォーメーション)を提案し、「働くをデザイン」してまいります。

■ サービス概要

- 名称：Works Connect to neoAI Chat
- 提供開始日：2026 年 2 月 5 日(木)

※別途、kintone および neoAI Chat の契約が必要です

- 主な機能：マルチアシスタント機能、レコード連携機能、マークダウン表示対応など

あらゆる場面で活用可能



営業

眠った資料を営業ツールに

過去の成功事例や顧客情報を参照し、提案内容を生成。顧客に合わせた提案で営業の質を底上げします。



品質管理

報告書がそのまま生きた知恵に

現場の対応履歴と過去のデータを AI が学習・活用。同じ問題の再発を防ぎ、恒久的な品質管理体制を確立します。



法務

法令チェックを最速で

契約書や文書を読み込み、社内ポリシーや外部リスク情報と照合し自動判定。法務チェックを大幅に効率化します。



複雑な表や図を正確に読み取る



アシスタントの作成は無制限



金融機関も導入する安全なセキュリティ



AIエージェントモデル搭載



web検索との併用可能



グループごとに4段階の権限管理が可能

■ 担当者コメント

ワークスアイディ株式会社 執行役員 奥西 佑太

多くの企業で生成AIの導入が進む一方、実業務への定着には『業務プロセス内のAI活用』や『社内データとの連携』が大きな壁となっています。

実際の業務プロセスでは『kintoneにデータはあるが、判断材料となるマニュアルや資料が別々の場所に保管されている』という課題を多く伺ってきました。今回の『Works Connect to neoAI Chat』は、こうした情報の壁を取り払い、『現場を迷わせないナレッジ活用』を実現するためにkintoneのプラグインを開発しました。これまでお使いのkintoneで、プロンプト不要、ワンクリックでkintoneのフィールドに社内データを参照して最適な回答を生成してくれます。

AIを業務プロセスの中に溶け込ませることで、組織全体の生産性と質の向上に貢献してまいります。

【プレスに関するお問い合わせ先】

ワークスアイディ株式会社 広報担当

メールアドレス：press@worksid.co.jp

【製品に関するお問い合わせ先】

Works Connect to neoAI Chat 事務局

E-mail：kintone-plugin-support@worksid.co.jp

URL：<https://dx.worksid.co.jp/service/worksconnect-to-neoaichat/>

■ 会社概要



会社名：ワークスアイディ株式会社

代表者：代表取締役社長 池邊竜一

本社：東京都渋谷区渋谷 2-15-1 渋谷クロスタワー23階

設立：1999年7月19日

URL：<https://www.worksid.co.jp/>

サービスサイト：<https://dx.worksid.co.jp/>

事業内容：『働くをもっと面白くするデザインカンパニー』をビジョンに掲げ、デジタル技術で人の能力を最大限に引き出せるAX・DXを推進。1999年創業以来、データドリブンコンサルティングによるデジタル経営資源の有効活用、ビジネスプロセスコンサルティングによる生産性向上などを強みに顧客への伴走支援型コンサルティングを展開。